

広島県中小企業団体中央会 2016年6月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

6月の出荷量は前月比13.3%増加、前年同月比16.1%増加、売上高は前月比16.0%増加、前年同月比17.4%増加となった。一部（特定の）で出荷量、売上が増加しているだけであり、全体としては、依然業界の景況感は厳しい状況が続いている。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成28年5月の全国の住宅着工戸数は78,728戸で、前年同月比では9.8%増加、また、季節調整済年率換算値では101.7万戸（前月比2.3%増加）となった。利用関係別では、持家は23,501戸で前年同月比4.3%増加、貸家は32,427戸で前年同月比15.0%増加、分譲住宅は22,213戸で前年同月比7.9%増加となった。なお、木造住宅の着工数は42,794戸で、前年同月比12.2%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で5ヶ月連続の増加となった。引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の着工戸数は1,557戸で前年同月比68.7%の増加となった。このうち、持家は456戸で前年同月比23.2%の増加、貸家は787戸で前年同月比113.9%の増加、分譲は312戸で前年同月比72.4%の増加となった。地域別では、広島市は着工戸数903戸で133.9%増加、福山市は着工戸数238戸で17.2%増加、東広島市は145戸で150.0%増加、呉市は着工戸数69戸で46.8%増加となる一方、廿日市市は60戸で13.0%減少となっており、地域間でばらつきがあるものの、概ね堅調となっている。

但し、会員によって、売上や収益等に好不調の差があるようであり、今回の消費税率引上げ再延期に際しても、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

住宅着工も少しずつ増えており、景況感は改善の兆しが見えてきている。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

景況は前月と同じく厳しい状況にあり、1社が廃業した。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

アベノミクスによる様々な経済対策にもかかわらず、国内の景況感の改善は見られず、特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対して部品メーカーは国内生産台数の減少、プライスダウン要請、ベースアップを含む労務費アップに労働人口の減少が加わり、大変厳しい状況にある。最近の株価や為替の動向も大変不透明で、円高傾向が続けば輸出台数にも影響が出始め、さらなる生産台数の減少につながる可能性がある。また、英国のEU離脱の問題も長引けば日本経済の減速を招きかねず、今後消費税率10%への引き上げが実施されるのかも不確実になってきた中で、経済の先行きに不安感が強まってきている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は全体的に各社横ばいの傾向にある。前年同月比では、減少傾向にある。

為替の動向も気になるが、原油の世界市況が今後どうなるのか大変憂慮している。仮に材料市況が堅調に推移しても製品価格への転嫁が難しい状況に変わりはない。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年6月 3,178m³ (対前年18.2%増加)

28年5月 2,780m³

27年6月 2,688m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

先日の大雨で県道が土砂崩れのため2ヶ所通行止め（同時にではなく、1ヶ所開放された直後に別の場所が通行止め）になり狭い団地内の道路を迂回するようになったが、猛スピードで通過する車両やバスなどの普段通らない車両が通過し、危険にさらされると同時に荷物や製品の搬出入に支障をきたした。

災害の際、県、市など行政機関の連携強化による迅速な対応をお願いしたい。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区においては、航空機関係は前月通り高操業である。タービン・コンプレッサ、製鉄機械、ゴムタイヤ機械等は通常の操業である。それに伴い、協力会社各社も前月どおりの操業で横ばいの状況である。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、前年度に比べ設備案件が出て来ておらず、前月比5%増加、前年同月比15%減少となった。

電気機器

●電気機械器具

（電気）広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、少し生産が停滞気味であるのと、稼動日数が増えたため、前月比3%増加、前年同月比2%減少となった。輸出物件が多少動いており、国内はスマートメーター以外は横ばい傾向にある。

最低賃金の上昇が、経営を圧迫している。取引先に価格交渉はしているが、難しいようである。中小企業施策の更なる充実を望む。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

6月の国内自動車販売台数は全需が421千台、前年同月比4.9%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比3.0%増加と3ヶ月連続の前年超え、軽自動車は18.4%減少と18ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は36.3%減少と9ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの5月の全需は1,536千台で前年同月比6.0%減少と2ヶ月振りの前年割れ。マツダ車も同4.3%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

欧州の5月の全需は1,495千台で、前年同月比12.1%増加と5ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車も同27.7%増加と12ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の5月の全需は2,007千台で、前年同月比5.3%増加。マツダ車は0.6%減少と2ヶ月連続の前年割れとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の5月の海外販売合計台数は111千台、前年同月比6.1%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの5月の輸出動向については、輸出台数は前年比25.2%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの5月の国内生産台数は、前年同月比7.2%減少と12ヶ月振りの前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年6月の船舶建造許可実績は3隻122,700総トン（前月6隻256,350総トン、前年同月7隻305,100総トン）であった。なお、このうち2隻が貨物船で1隻が油槽船となっており、全てが輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料高騰により、収益性が悪化している。しかし、輸入関連企業は円高により、収益性は改善しているようである。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

高級品の受注が減少傾向である。5月の展示会企画（広島地区4社のショールームツアー）での受注による出荷が7月より反映されるのではないかと期待している。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

イギリスのEU離脱により、為替は円高となり、株式相場も動揺している。一方、原油価格も先物相場が上昇している。円高に伴い好調だった輸出関連業者は伸び悩みが予想され、国内の消費低迷もあって、景況感の低下が懸念される。

「資材関連」においては、電力小売自由化から2ヶ月が経過するも現状は動きがない。蓄電システム等の新しい省エネ機器の販売に注力している。

「食品」においては、外食向けは、6月の長雨の影響で売上は前年割れ。

「繊維」においては、紳士服卸は前年割れ、販売先量販店の売上は前年比5%～8%減少で推移している。

円高の影響により客先からは値引き要請があるが、既に円安レートで為替予約をしており、対応は困難である。急激な円高により困惑している。

「雑貨」においては、生活雑貨の6月の売上は、弱含みで推移した。販売価格もデフレ回帰の兆しがある。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

住宅着工の伸びが続く中、徐々に材料の動きがよくなっている状況である。非住宅においては、リニューアルに対してのLED照明案件が増えてきている。

●卸売業（豊・敷物）

広島県藺製品商業協同組合

国内では、藺草の生育は順調で平年並みの収穫が見込めるものと思われる。現在の価格は高値横ばいの状況である。今の時期、JAS豊表の引き合いが多く見受けられた。国産表は、ゆるやかな商品の流れ（受注・販売）であった。

一方、中国産表では後半は刈取時期を迎え、各工場ともに多忙な状況である。古物表の豊表販売は、在庫調整局面から活発な商いとなり、輸出もあったようである。全体的には、生産調整をしながらの栽培、収穫であることから幾分高値が予想される。

6月は梅雨の時期であることから、国内では商品の動きは鈍く、天候を見ながら注文・出荷対応をしている状況である。7月は反転し、多忙となるのではないかと見ている。相場も堅調に維持するものと見ている。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

昨年の5月は三次プレミアム付き商品券の影響で売上増となった店舗が多かったため、今年度は前年割れとなった店舗が多い。

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

6月度の売上は、前年比、前月比共に減少した。熊本地震の特需はなくなったものの、価格面での特売条件は震災以前より少なく、厳しい状況が続いている。また、今年の入梅は6月4日と平年に比べると3日程度早く、しかも入梅してからほとんど雨で、しかも平年の倍近い雨量を記録するなど、店の来店に大きく影響し、客数、売上共に減少した。特に6月は梅やらかしを漬け込む時期であるが、例年に比べて関連商品の販売が大幅に落ち込んだ。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

6月度の販売実績は前年同月比7.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比5.2%減少、BDレコーダー同20.9%減少、音響・車載機器同32.7%減少、冷蔵庫同7.2%減少、洗濯機3.6%減少、エアコン同2.9%減少、エコキュート同11.4%減少、IHクッキングヒーター同14.8%減少となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

景況に関して、ブティック（婦人服）の店主からの聞き取りでは、5月の連休明けから6月にかけての夏期セール期間中、品揃えや流行物の仕入れに注力した結果、今年は例年に比べ、売上がやや増加した。固定客だけでなく、口コミで広島からの新規顧客の来店もあったようである。ただし、景況感については、依然として横ばいの状況が続く見通しである。

空き店舗の再利用に関して、7月に美容院1店舗の新規開店が予定されており、現在工事中である。現在、広島でブライダル衣装のレンタル、写真撮影店の経営者が当商店街での出店についてを検討しており、空き店舗の紹介依頼があった。数店舗紹介するとともに、呉市の空き店舗解消公募事業制度を紹介したが、現在のところ成約には至っていない。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比30.0%増加、前年同月比3.5%減少。車検場収入は前月比30.9%増加、前年同月比2.0%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比24.1%増加、前年同月比3.5%の減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

参議院議員選挙に伴い、掲示板受注の特需があり前月比10%増加となったが、全体的には低調である。

●警備業

広島県警備業協同組合

引き続き人手不足である。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

6月の売上については、前月比34%増加、前年同月比3%増加となった。

前月比で見るとカーテン工事が41%増加、敷物工事は25%減少、壁装工事は34%増加と敷物工事が大きく減少した。

前年同月比では、カーテン工事は33%増加、敷物工事は70%減少、壁装工事は変化なしと特に敷物工事が極端な落ち込みとなった。

施行工事においては、地域間格差と事業者間格差が大きい。

工事物件全体では、若年入職者が少なく、高年齢化が顕著であり、大きな課題である。業界では依然、人手不足の状態が続いている。

福山地区電気工事業協同組合

6月における工事受注件数は、前月比3.6%増加、前年同月比1.8%減少となった。

神辺建設業協同組合

公共事業を中心に、上半期大型物件の発注が増加傾向にある。その他、中小規模案件の発注も増加傾向にあるので、各社受注にむけ意欲的である。建設資材の価格見直しも僅かながら上昇傾向にあるので、今後適正価格への価格改正に期待したい。

また、当月に発生した福山市内での集中豪雨災害に伴う復旧工事への対応に各社追われている。

運輸業

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

6月の荷動きは例年では第1週から第3週までは大きな変化はなく、第4週後半から大きく動くという傾向にあるが、今年は第4週の動きが思ったよりも悪く、低迷感が強く残った。同様に鉄鋼関連が4月から減産傾向で、国内・国外輸送も低迷した。しかし、全体的には動きは回復基調であり、飲料・食料品などは回復、紙関連は後半に大幅な動きを見せていたようである。熊本地震の影響を受けた九州向けも徐々に回復しつつあり、復旧特需に関しても業界を上げてサポートしている状況である。

また、軽油価格は、世界市場では値上げ傾向が強く、同時に国内においても値上げ傾向である。7円/Lと久々に5円を超える値上げとなった。

松永地区トラック事業協同組合

今月の売上高は、4月に比べると、先月に引き続き苦戦しているところが多い。最近では、過労運転が原因と思われる自動車事故が続発していることから、トラック運転者の労働時間の改善基準告示、さらに長時間労働による健康被害などトラック運送業を取り巻く環境は厳しさを増している。このことから、今後は長距離運行に支障が出始めるのではないかと危惧している。

軽油価格は、大きな上下動はないが、小幅ながら値上がり傾向で、今後もこの傾向は続くのではないかと思われる。

広島輸送ターミナル協同組合

燃料価格が上昇に転じた。今後の動向に注目していく必要がある。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比共に特に変化がない。